

六月三日

十時半ひろしまハウス打合わせ。広島市立大学平和研究所教授水本先生、ピースウィンズジャパン根木さん、広島県総務企画部出原さんと。六日の広島での会議の準備会。素人家づくりワークショップのテーマを藤沢・高橋さんの家づくりをテーマにする事にした。先ず高橋さんの了解を得なくてはならぬ。十三時DIY本打合わせ。十四時新木場杭の件打合わせ。十五時過研究室発池上本門寺伊藤さん宅打合わせ、後本門寺境内を歩く。幸田露伴、文の墓があった。露伴の五重塔は谷中の五重塔だった筈だが、墓は池上なのか。力道山や市川雷蔵の墓もあるらしい。池上駅前のコーヒーショップでスタッフと打合わせ。十九時半修了。二十一時過世田谷村帰着。墓地を歩くのが気持ちよくなったのは年のせいかな。鈴木博之先生は若い頃からすでに年をとっていたのだろうか。

夜、満月が空一杯を照らしている。長安一片の月の詩を思いおこすが、西安で見た月は随分煙で汚れていた。現代中国の都市風景から李白や杜甫の如き詩が生み出される事は無いだろうな。

六月四日

八時起床。昨夜の月は凄かった。そう想う自分がいたんだろうが。ゴーンゴーンと階下で音がするので降りてみたら前橋の森田工業二代目が現場に入っていた。十時半五反田トモコーポ。社長

と打合わせ。十三時研究室。馬場邸アパート他打合わせ。十五時過出。十七時中央林間、森の学校古木氏等と打合わせ。十九時過迄。二十一時世田谷村帰着。二十二時新木場杭工事見積り届く。大幅なコストダウンの数字が杭メーカーから出る。二十三時過友岡社長と電話で対策を相談する。ゼネコンの見積りの何処を信用したら良いのか益々解らなくなる。設計家の役割の大半はマネージメントである事をいよいよ確信する。市場主義の本質がコストの隠蔽で良い筈があるわけないが、現実にはコストのブラックボックス化によって、その全体が作動しているのも現実であろうか。人間の労働の尊厳自体がマネーの不透明さによってもて遊ばれているのだ。

今夜の月も大きいが昨夜の冴えはすでない。梅雨入り間近らしいが、その直前の変異の一瞬だったのであろうか。

六月五日

八時前起床。十時半研究室幸脇さん来室。十三時研究室ミーティング。忍田さんのプロジェクトの態勢を固めるべく考えを述べる。この計画は大事にしなくては。石井が何処まで出来るか試してみよう。キャパシティーはかなり大きそうだ。アベル・エラソよりチリのモダニズム建築の報告。私はチリのバロック建築に関心があるのだが。十五時設計製図講習会。毎年新しい三年生の才質を見るのが楽しみなのだが、どうやら今年は低調なようだ。李祖原も二〇時迄つきあう。明日彼は台北に戻る。毎年、年毎に学生との年齢もレベルも距離が開き続けのはやむを得ないとして、本当に人材が払底しつつあるのを感じる。要するに大人になるのが遅過ぎるのだ。先生方と久し振りに会ったので会食。遅く世田谷村に戻る。

六月六日 日曜日

五時半起床。家内が私の代わりに富士嶺観音堂の落成式に出るので、そのあいさつの原稿を作る。六時半世田谷村発、七時五分発のぞみ五号で広島へ。車内でウトウトと眠り、講演のスライドを組み直す。今日は広島でJA（農協）の婦人会員千五百人の会で、ひろしまハウスの話しをしなければならぬ。十二時前広島着。TAXIで国際会議場へ。丹下健三設計のひろしまピースセンター内の大会議であつた。食事をしながら講演準備。国近さん、平岡さんと再会。十三時四〇分講演。明日へのヒント「マイノリティのデザイン」という題目。千五百名のJA広島レディースメンバー対象。流石に千人を超える聴衆を相手にすると気が入る。菅平の開拓者の家を始まりにして、私のツリーハウス、十勝ヘレン・ケラー塔、難民キャンプのための病院、ブッヘンバルトのユダヤ人大量殺人収容所、そしてブノンペンのひろしまハウス建設の道筋で話した。良く聴いてくれたの感触があつた。ひろしまハウス建設の寄附をつるための講演であつたが、私にも話しながら新鮮な感動があつた。講演後前広島市長の平岡さんが、JAレディースより寄附金を贈呈されるのに立会い、修了。「ひろしまハウス」ブノンペンは私のプロジェクトの中心の一つを成すものである事を自身再確認できたのが収穫であつた。十五時前講演終了。平岡さん等と広島NPOセンターに移動。広島市の市民運動団体、東京からピースウィングズ、広島カンボジア市民交流会の人達二〇名程と初会合。ひろしまハウス建設運動が初めて、広島市民のスケールで認知されたのかと感慨深い。会合は十七時から十九時まで。修了後、間近のペルー料理屋で二〇名程の会食。平岡さん等と談笑。平岡敬氏は今、七十七才である事を知る。平和運動を具体的に主張し続けた名市長の根がジャーナリ

ストの本懐である事を知ったのが良かった。早稲田の根深い、良質な伝統だなこれは。反体制ではない。反権力なのだ、やはり。ビールを程々にいただきそれでも二十二時リーガロイヤルホテルにチェックイン。良い一日であつた。今日は広島で沢山の人を相手に話し、町づくりの現場での数々を想い起こした。平岡さんと話しながら、今私が深い関心を寄せている日本の農業、農産物と私の食生活、そして身体の健全さの尺度の問題、を具体的に考える糸口が少しばかり視えてきた。利根町百人スクールでやろうとしている問題は間違いではない。確信に満ちて、と言えば嘘になるが、それでも、やってみる価値はあるのだ。二十二時三〇分ベッドに横になる。深い眠りに入る事ができるかどうか、解らないけれど、とり敢えず横にならざるを得ない。今日はすでに十八時間頭を使い続けているかんじようになるな。